

お知らせ

三月例会
期日…立教 188 年 3 月 25 日
時間…15 時 30 分受付 16 時開始
会場…教庁 4 階講堂

報告

一月例会
去る 1 月 25 日、教庁 4 階講堂において「1 月例会」を開催。出席は 30 教区、106 直属。

各地の動き

直属学生層育成者講習会
・此花 1 月 24 日 大教会
小西祥治委員出向 70 名

人事

〔立教 188 年 1 月 25 日付〕
〔直属学生担当委員長辞令交付〕
・桐谷善広（網走・陽光）
・伊庭 壮（大原）

学生担当者報

学生担当者報 3

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉
Vol. 457 立教 188 年 2025 年 2 月 25 日発行
TEL 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp
TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

業務記録

- 《立教 188 年 1 月 16 日～2 月 15 日》
1 月 17 日 事務局連絡会
まなびばトライアル（～18 日）
24 日 担当者活動部部会
25 日 委員会 例会
27 日 学生生徒修養会大学の部
スタッフ事前研集会（～29 日）
学生生徒修養会高校卒業生コース
スタッフ事前研修会（～28 日）
2 月 6 日 学修部部会
7 日 学修係員チーム会議
8 日 委員会
担当者活動部部会
広報室会議
人材育成部部会
学生連絡会
9 日 大学の部研究室
10 日 高校卒業生コース研究室
春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
12 日 まなびばチーム会議
14 日 事務局連絡会

「今年も春の学生おぢばがえりがやって来る」



私が初めて学生会行事に参加したのは高校 3 年生の時。教祖百二十年祭学生おぢばがえり大会でした。大会が賑やかで楽しくて、そこから大学 4 年間、学生会に積極的に参加するようになりました。その中でも春の学生おぢばがえり（以下 春学）は、言いようのない温かさがあふれる行事として、自分の中で特別なものになっていました。

私が参加していた学生会では、春学の撤収が全て終わった後、学生を終えるスタッフの卒業式をしてくれました。一人ひとりが挨拶をするのですが、お調子者の私は皆を笑わせようと密かに企んでいました。しかし、自分の番になり話し始めると、さまざまな思い出が頭の中を駆け巡り、気付けば涙が止まらなくなっていました。「信仰しようと思わせてくれたのは学生会だった」「これからはしっかり信仰していきたい」なんとかそれだけ言えたことを覚えています。今思えば、これが私の心に信仰の火がともった瞬間でした。

そこから 15 年経ち、現在学生担当委員として春学に携わっています。15 年前に比べて学生の外見は大きく変わりましたが、取り巻く環境も変わりました。しかし、私の頃と変わらず、彼らは楽しくそしておぢばに帰ってきます。春学も変わらず、言いようのない温かさがあふれています。

学生部 委員

篠森吉治

Happist 毎月更新中 (全 36 回)

おやさまを求めて

本部准員 中山正直



令和 7 年 学生担当委員会 活動方針
「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

### 「学生生徒修養会大学の部」スタッフ事前研修会開催報告

1月27日～29日にかけて、第7・8・9母屋を会場に「学生生徒修養会 大学の部 スタッフ事前研修会」を行い、198名が参加した。今年には、よりきめ細やかな丹精を指して、「みのり塾」「いさみ塾」「よふき塾」「まこと塾」「つなぎ塾」の5塾に分かれ、塾長・副塾長を中心に男女カウンセラーが世話取りにあたり、庶務係、進行係が塾運営を担う体制をとる。

研修会ではエクササイズ実習を始め、「受講生と接する際の心構え」についての講義や係ごとの打ち合わせを実施した。

今年のテーマは「おやさまゝ心の拠り所」としている。2日目の清水委員長の話では、難しい

テーマではあるが、学生と一緒に語り合い、一緒に考え、一緒に感じることを第一に大切にしてもらいたい。そうしておちばで仲間と共に学んだことや感じたことが受講生の一生の宝物になる。一歩先に行く先輩として学修で伝えてあげたいと思うことを一つでも用意できるように、本番までの間それぞれに教祖を求めて通ってもらいたいと述べた。

スタッフ一同は研修会を通して学んだことを心に治め、本期間に向けて各自が理づくりに励むことを誓い合い、幕を閉じた。

青空

学生時代、奈良教区学生会にとっぷりで、特に「まなびば」に参加するたび、非日常の楽しさや目からウロコのような信仰の気付き、そして学びがあった。

卒業し、教会から離れて暮らしはじめたが、学担として携わることが、教えに触れる貴重な機会となり、おかげでお道から離れずに通れた。

そんな中でのコロナ禍。学生会もできることが限られ、存在すら危ぶまれていく…。でも「まなびば」は途切れさせたくなかった。約1年ぶりの開催は参加者1人。それから地道な努力を積み重ね、昨年は23名の学生が参加してくれてうれしい連鎖が続いている。

2年前からは不思議なお導きで学担本部スタッフとしてプログラム作成に携わり、先輩方への感謝が育まれている今日この頃。4月より直属にも門戸が広がり、教区では1日開催プログラムもできる。学生はもちろん、学生を卒業した同年代、30代、学生担当者への影響も大きい。経験した人にか伝わらない喜び、それこそが魅力。まなびば研修会やお近くのまなびばで、是非味わってください！

人材育成部本部スタッフ 中村道裕

### 「学生生徒修養会高校卒業生コース」スタッフ事前研修会開催報告

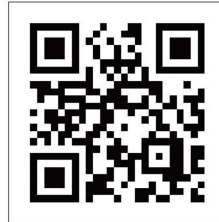
1月27日～28日にかけて、第12母屋を会場に「学生生徒修養会 高校卒業生コース スタッフ事前研修会」を行い、112名が参加した。高校卒業生コースは高校卒業という人生の大きなターニングポイントを迎える高校卒業生を対象にしており、卒業後どのような環境においても、おちばや教会につながり、教えを拠り所とした生活を送ることを目指して、親神様の御教えを学ぶとともに、同世代とのつながりを深めることを目的としたものである。

研修会では、エクササイズの実習を通してグループワークの進め方や心の使い方を学び、2日目の清水委員長の講話では、学生層育

成に携わる者の使命は道につながる学生にお道の信仰を伝えること、そのための丹精をすること。親神様、教祖がおられるこのおちばがうれしいときはもちろん、悩んだときや苦しいときに帰ってきたいと思えるような若者たちの心の拠り所となるよう真心を持って務めてもらいたいと述べた。

また、1月27日には大学の部、高校卒業生コースのスタッフが一堂に会し、表統領 中田善亮先生から激励のご挨拶を頂き、一手一つに人材育成のご用を務める決意をした。

QRコード読み取り



# 明日につながる 学生WEBSITE Happist

<https://happist.net>

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介
- おちばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

学生に手渡しできるリーフレット  
**HAPPIST [NOT] NET**  
ハピニスト ネット

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。  
部数のご変更は学生担当委員会事務局まで。